

## ちょっといい話 (No.4)

平成30年度

「桃太郎チャレンジキャンプ」⇒「リメンバー桃チャレ」

国立吉備青少年自然の家

8月に行われた「桃太郎チャレンジキャンプ」(6泊7日)から約半年が過ぎた1月、寝食を共にした仲間たちと再会し、次の学年へ進級する前にさらなるチャレンジで自信をつけるために「リメンバー桃チャレ」を企画した。

メインプログラムは、8月に2日間に分けて歩いた道のりを1日で完歩しようという「ロングロングウォーク」だった。総距離20km。「レッツチャレンジ!」といえども、小学校3・4年生にとってはとてもハードルの高い活動であることには間違いない。スタッフの大人たちも、「きっと歩けないだろう。」という不安も抱きつつ、早朝5時半起床で、チャレンジが始まった。

子供たちの「先しか見ていない姿」にととても感心した。一度歩いたことがある道、見通しをもち、8月の様子を思い出しながら一步一步ゴールを目指した。時には歌を口ずさみながら、ゴミ拾いまでやりながら……。

全員がゴールしたのは、設定していた時間より2時間も早い時間だった。ゴールとなった「鬼の城」でのすがすがしい青空が忘れられない。

子供たちの中で、達成できた事実を胸に刻み、今後の糧にして欲しい。

### <子供たちの感想>

ア) 正直、ロングロングウォークを完歩できると思っていなかったが、全員でゴールできてうれしかった。

イ) 自分から積極的にみんなの役に立つことができるようになった。

### <保護者のコメント>

ウ) 再度、企画してくださり、本人は、冬休みも新学期もこの日を楽しみに色々な事にチャレンジして、体調管理も風邪を引かないように気をつけていました。桃チャレに参加させていただき、「誰とでも仲良く」「何事にも挑戦する」「続けて頑張る」「成し遂げる」力をつけて、本当に大きな成長に嬉しく思っております。家庭だけではできない色々な体験ができて本当にありがとうございました。

<保護者 メール>

エ) キャンプから帰った息子はすぐに1人で部屋にこもってしまったのだ。気になって様子を見に行くと、毛布に顔をうずめて泣き「短すぎた」とぼつり。2度目の別れはつらかろうと思ったが、驚いた。それだけ濃い3日間を過ごせたのだと思う。

<保護者 新聞投稿>

